

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 コベルプラス与野バイパス教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		基準以上のスペースで設計しています。	
	②	職員の配置数は適切である	5		基準人員に加えて加配人員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		シンプルな構造にしており、教室ごとに目印を立ててあります。またエレベーターが設置されている為、車いすの方でも来所可能となっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		運動空間はカーペットに加えてマットを敷いており、安全に活動できる空間を設定しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		日々の振り返りを行い、次回の活動に対しての目標を設定しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		今回が初めてアンケートとなりますが、保護者様からの意見を受けて、より良いサービスを提供できるよう取り組んでいます。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		今回が初めて取り組みとなりますが、今年度事業所のホームページにて公開します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		現在行っていませんが、今後行っていけるよう進めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	月 1 回以上の研修・勉強会を実施しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	契約時・支援計画更新時には必ずアセスメント・モニタリングを行い、利用者様に合わせた計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	社内で設定しているアセスメントツールを使用してアセスメントを行っております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	必要に応じて支援計画に示しながら、必要項目を選択し支援内容の設定を行っております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	日々、支援計画を確認しながら当日の目標を設定し支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	朝礼・昼礼・終礼を行い目標の設定・振り返りを行っています。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		社内システムにより、使用教材が毎回入れ替わり、レッスンのな陽が重複しないよう設定されています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		必要に応じて個別支援・集団支援を行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日打ち合わせを行い、対応しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終礼を行い、毎日の振り返り・情報共有を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援毎に必ず記録を作成し、振り返りの資料として使用しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		支援計画の更新時には本人・保護者共にモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		責任者・支援員の両名で対応しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		関係機関との連絡を定期的に行い連携を図っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5			医療的ケア児が利用していない為、対象外となります。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		医療的ケア児が利用していない為、対象外となります。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		現在「保育所等訪問支援」も行っている為、必要に応じて各幼稚園・保育所等との情報共有を行っています。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		現在まで卒園をした利用者様がない為、移行支援を行っていません。今後発生した際には適切な対応を図っていきます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	センターや相談員との連携を図り、支援内容の調整を行っている。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		利用者様と外部の方との交流の場は現在設定していません。

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	地域会議や研修会などには積極的に参加させていただいています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	日々保護者様との振り返りを行いながら、現状の情報共有をさせていただいています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	その都度、個別での支援を行っています。	
保 護 者	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	契約時に丁寧な説明を心がけて対応しています。	

への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		作成時に必ず保護者様へ確認を行い、了承を得てから実施させていただいています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		定期的に保護者様と指導員が会話を行えるよう設定しており、情報提供をしています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		現在まで開催はありません。今後保護者会の設定を進めていき、交流できる場を設けていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		保護者様からの相談に対してはその都度迅速に対応できる整備を整えて対応しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		各 SNS を配信し情報開示や予定の開示を行っています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報に関してはマニュアルに則り対応し、終礼時には必ず個人情報を鍵付き書庫へ入れるまで確認しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		本人の行動から読み取れる情報についてその都度、保護者様へ共有しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		現在外部の方を招待して行う活動は行っていません。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各マニュアルは契約時に共有し、また、教室入口の棚に設置しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年に 2 回の避難訓練・救出訓練・通報訓練を行っています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約時に必ず持病、アレルギーの確認を行っています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		現在当事業所では、アレルギーを持った利用者様のご利用がありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハットの記録を作成し、教室全体で共有しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止に関する研修を年 2 回実施し、そのほか委員会の設置をして虐待防止に努めています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		契約時に確認し、やむを得ない状況でのみ身体拘束を行うことにご了承いただいています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。